

～資材の適正量の意識、安全作業手順の構築による経営の安定化・効率化～

<基本情報>

- 所在地: 千葉県佐倉市
- 経営開始: 昭和59年

<経営概要>

- 経営面積: 2ha
- 構成員: 2人
- 主要作物: やまといも、水稻、落花生

<認証GAP>

- 平成25年 JGAP認証取得



<生産工程管理の改善の取組>

- 作業効率の向上のため、作業の流れに沿った動線配置を実施。また、農産物の交差汚染を防ぐため、衛生区域と汚染区域を分け、資材の特性に応じた配置を実施。
- 「資材の適正購入量を明確にし、在庫を持たない」、「作業機はなるべくバックさせないような作業手順の取り入れ」、「機械の非常停止方法を作業者間で共有し、さらに実演訓練を複数回実施」等のルールを作成と実践。

- 農場運営を安全で効率的に行うための機械・技術を開発(粒剤散布及び土壌混和の機械[実用新案取得]、根菜類の洗浄方法[特許取得]、農作物の育成上の管理方法[植物体の画像を使った診断: 特許出願中])。



<GAPの継続に向けた取組>

- GAP継続のために、無理のない方法で取り組むことが重要と考え、掲示物の作成や帳票等の記録作業は、気付いた時点ですぐに取り組めるよう手書きで実施。作業しながら気付いたことがあれば目印を付け、後日、作業工程の改善や機械の改良を積極的に実践。



<経営の改善の取組とその効果>

- 「資材の適正量を意識する」、「安全作業手順の構築」により、適期に適正な管理を行うことができ、経営が安定。また、資材、作業及び時間の無駄が減り、経営が効率化。

<地域の内外への波及効果>

- ASIAGAP指導員に認定されており、新たにGAPを経営に取り入れたいと考える農業者に指導・助言を行い、GAPの普及拡大に尽力。